

おすすめ作品『^{タイム}・^{パトロール}P ぼん』

京都工芸繊維大学 4年 K.K

京都大学藤子不二雄同好会は藤子作品全般が対象です。しかしドラえもんは人気ですし、かくいう私もドラえもんが好きで入会しました。ドラえもん以外の藤子作品についてはあまり知らなかったのですが、先輩の方に藤子先生の『T・P ぼん』を貸していただけました。面白い作品だと感じたので、皆様にご紹介したいと思います。

あらすじ

中学生の並平ぼんは、友人とのもみ合いで窓の方に飛ばしてしまい、その勢いで友人がベランダから落ちて死んでしまう。「ぼくが殺したんだ!!」とぼんが焦っていると、なぜか、友人が死ぬ前の時間に戻ったようだ。戸惑うぼんは、あるところでボートの形をした乗り物を見つける。乗ってみると知らないところに着いたようだ。ぼんのところへ謎の少女リームとスライムのような生命体ブヨヨンが来て、彼らから鎌倉時代にやってきたと聞く。どうやらボートはタイムマシンのようだ。リームはタイムパトロール (T・P) として、生存させても歴史に影響がない人を不慮の事故死から救う活動を行っていた。友人が生きかえったのもリームのおかげだった。その存在は秘密だが、ぼんはリームミスで偶然その存在を知ってしまった。秘密を知ったぼんはリームに消されそうになってしまう。なんとか抵抗していると、T・P 本部から並平ぼんを消してしまうと歴史が変わることがわかったと連絡が来た。ぼんは消されずにすみ、T・P の隊員として入隊し、人命救助をすることになった。(『T・P ぼんスペシャル版、第1巻、Part 1 消されてたまるか』より)

おすすめポイント!

1つめは話のハラハラさです。最初の話から主人公のぼんが友人を突き落としてしまったり、T・P の存在を知ったぼんが一度は消されようとされたり、かなりハラハラさせられる展開です。主人公が事故とはいえ、人を死なせてしまう原因になるのは、少年向けではなかなかないのではないのでしょうか。

2つめは作品の温かさです。もし私がタイムマシンを使えたら、昔に戻って失敗を変えたとか、未来の自分を見てみたいなどが考えつきます。しかし、T・P ぼんでは人を助けるためにタイムマシンが使われています。空想の道具でも、自分のためではなく人のために使う話を描いた、藤子先生の優しさがあふれた作品だと思います。

3つめは歴史が理解できることです。タイムマシンを使って過去の人を助ける話を中心に、昔の日本と世界が舞台になります。第1話の中で鎌倉時代に行きましたし、他の話では戦時中や古代エジプト、西部アメリカなど様々な時代、場所に行きます。様々な時代の歴史が学べるマンガになっていると思います。

この紹介に興味を持ち、『T・P ぼん』を読んでいただけたらうれしいです。